

保護者の皆様へ このお知らせは、小・中学校の児童・生徒を通じて全保護者に配布しています。  
平成29年度用

## 就学援助制度についてのお知らせ

壬生町では、**経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者**に対して、学校でかかる費用の一部を援助することにより、児童・生徒が安心して通学できるように支援する制度を設けています。

### 1 援助対象者

壬生町に住所がある児童生徒の保護者で、**生活保護を受けている方及びこれに準ずる程度困窮している**と教育委員会が認めた方。

【モデル世帯】

認定の基準となる 所得金額の目安 (平成29年度)	世帯人数	2人		3人	4人
	世帯構成	大人 1人 小学生 1人	大人 1人 中学生 1人	大人 1人 小学生 1人 中学生 1人	大人 2人 小学生 1人 中学生 1人
	前年中の同一世帯全 員の総所得金額	140万円 程度	150万円 程度	200万円 程度	230万円 程度

※年間総所得は源泉徴収票の「給与所得控除後の金額」です。(ただし、給与収入のみの世帯の場合)

※年間総所得目安額は世帯構成、年齢等によって異なります。

※同一世帯全員とは、住民登録上の世帯の別にかかわらず、同一住所で生計を一つにする方全員のことを指します。

### 2 援助を希望する方

通学する学校に申し出てください。お子さんが小学生と中学生にいる場合は、小学校に申し出てください。申請書は1世帯1枚記入。

昨年度認定を受けた方でも、年度ごとに新たに申請をしていただきます。

年度途中でも随時申請することができます。申請のあった月の翌月からの認定となります。

※所得状況も参考に審査するため、**税の申告をしていない方は必ず申告を済ませてください。**  
世帯に1人でも所得不明者がいると、認定が保留となります。

### 3 認定について

学校長の意見及び民生委員の所見、世帯全員の所得状況や生活状況を総合的に審査し、認否を決定します。

申請時と年度更新時に地域の民生委員が生活状況等の確認するため訪問があります。

※民生委員には守秘義務があり、知りえた秘密を外部に漏らすことは絶対にありません。

### 4 援助の内容

就学援助年間支給額									
世帯	支給項目	新入学用品費	学用品費	通学用品費	学校給食費	修学旅行費	校外活動費	体育実技用具費	
生活保護に準ずる	小学生	1年生	40,600	11,420	—	49,500	—	実費	—
		2年生以上	—	11,420	2,230	49,500	実費(6年生)	実費	—
	中学生	1年生	47,400	22,320	—	57,200	—	実費	実費
		2年生以上	—	22,320	2,230	57,200	実費(3年生)	実費	—

※支給月は、1学期・7月末 2学期・9月末 3学期・2月中を予定しています。

※教育委員会から学校に振込後、学校長を通じて保護者に支給となります。修学旅行費・校外活動費については、概ね実施後2、3ヶ月後の支給になります。

※新入学児童生徒学用品費については、当該年度4月1日認定の1年生に限ります。

※体育実技用具費については、中学1年生 剣道竹刀代が対象となります。

※生活保護世帯については、学用品費等は生活保護費における教育扶助等において支給されます。

修学旅行費と医療費【学校病(う歯など)に限ります。】が就学援助費から支給されます。

※就学援助は基本的にはご負担いただいた費用を事後払いで支援する制度となりますので、給食費等の学校集金や修学旅行等の積み立ては原則免除されません。

## 5 問い合わせ先

詳しくは、通学されている学校または 壬生町教育委員会 学校教育課 学校教育係  
(電話 81-1871) までお問い合わせください。

なお、申請書は学校及び教育委員会、その他壬生町公式WEBサイトに掲載してございます。

記入例		1世帯1枚記入				
平成29年度 就学援助費受給申請書 (兼同意書)						
平成 29 年 4 月 3 日						
壬生町教育委員会 様						
申請者 (保護者)		住所	壬生町通町12番22号			
		氏名	壬生太郎	㊞		
		連絡先	自宅	81-1870		
			携帯	090-1234-5678		
就学援助を受給したいので申請いたします。						
この申請にあたっては、壬生町教育委員会がその認定審査に必要とする場合の住民登録上の世帯・同一住所及び申請書の世帯欄に記載した全員の①住民基本台帳の閲覧、②町民税課税台帳の閲覧、並びに③申請者の生活保護・児童扶養手当受給状況の照会について同意いたします。						
また、福祉関係機関からの認定状況の照会について同意いたします。						
家庭の状況						
※住民登録上の世帯の別にかかわらず、同一住所で生計を共にする家族全員を記入してください。						
児童生徒						
ふりがな 氏名	生年月日	保護者から みた続柄	学校名	平成29年 度の学年	前年度就学援助 受給の有無	
みぶ 壬生 みいな	H22年10月10日	子	壬生(小)・中学校	1年	有(無)	
みぶ 壬生 ひばり	H15年11月15日	子	壬生小・(中)中学校	2年	(有)無	
			小・中学校	年	有無	
			小・中学校	年	有無	
			小・中学校	年	有無	
世帯欄 (就学者を除く家族)						
ふりがな 氏名	生年月日	児童生徒から みた続柄	勤務先 (パート・アルバイトを含む) 又は学校名	病気の療養		
みぶ 壬生 太郎	M・T ⑤・H 46年11月11日	父	〇〇〇会社 (契約社員)	有(無)		
みぶ 壬生 花子	M・T ⑤・H 52年12月1日	母	〇〇スーパー (パート)	有(無)		
みぶ 壬生 えのき	M・T S・㊞ 13年5月5日	兄	〇〇高等学校 1年	有(無)		
みぶ 壬生 みらい	M・T S・㊞ 24年3月3日	妹	〇〇保育園	有(無)		
みぶ 壬生 一郎	M・T ⑤・H 19年9月15日	祖父	無職	(有)無		
	M・T S・H 年 月 日			有無		
	M・T S・H 年 月 日			有無		
住宅の区分	持ち家または同居 賃貸住宅		児童扶養手当受給	有(無)		
申請事由						
※援助を必要とする事由をできるだけ詳しく記入してください。						
《例1》父親が病気で入院しているため、母親の給料だけでは収入が少なく大変生活が苦しいため。 《例2》ひとり親家庭であり、収入が安定しないため生活が苦しいため。 《例3》父親または母親の仕事が不安定で、収入が少ないため。						